

ほっとニュース

発行: 特定医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

特定医療法人 一成会 理念



整形外科 医療の さらなる充実を目指します

特定医療法人 一成会 理事長 ・ 木村病院院長 木村 厚

皆様お元気でお過ごしでしょうか。この夏は、節電のため、エアコンもいつもの夏のように運転できないと言われていますが、熱中症には気をつけて下さい。

さて、この5月から、本田隆仁先生をお迎えすることができました。木村病院では、この地域にお年寄りが多いことから、早くからリハビリテーション施設を設けるなど、整形外科やリハビリテーションに力を入れてきました。本田先生が、常勤の整形外科医として勤務して下さることで、しばらく行なっていなかった整形手術も再開しています。このことにより、入院、手術、リハビリテーションを一貫して行なうことができるようになりました。



本田先生のプロフィールについては、本号のインタビューその他をお読み下さい。

ベスト接客標語 ●●● 職員から募集した接客標語です

日頃から 交わす言葉が 信頼に

●●● 接客委員会

整形外科

新しい先生をご紹介します



ほんだ たかひと
本田 隆仁 先生

平成23年5月1日より、木村病院の常勤医として勤務しております。昭和60年日本大学医学部を卒業し、同年日大整形外科に入局しました。平成19年に医局を離れ埼玉の病院に勤務しておりましたが、ある朝犬の散歩をしている時、自宅の近所で開業している外科の同級生に会い、木村病院を勧められました。

当院に、研修医時代日大稲取病院で半年間寝食を共にし、気心が知れている同級生で、外科の野中先生が勤務していること、および院長の男気に惚れこんで、木村病院に勤務することに決めました。専門は関節の外科（主に人工関節）、リウマチ性疾患、外傷全般です。診療に際して常に心がけていることは、患者さんを自分や家族に置き換えて、治療法や手術適応（手術するかどうか）を考えることです。勿論、疾患について詳しく説明し、理解された上で治療することが、最も大切だと思います。今後はこれまでに培った経験を生かし、町屋を中心とした地域医療に貢献できるよう努力したいと思います。皆さん、よろしくお願いいたします。

♪ 本田先生はこんな先生です ♪

同期

外科 野中先生
よりコメント

本田医師は、医学部の同期です。

伊豆の関連病院出張中の手術の際は、お互いに協力しておりました。

彼は大学在勤時、医局長に選ばれており、その人柄は、患者さんにわかりやすく丁寧に説明する姿に、よく表れています。

リハ科 真藤科長
よりコメント

私達リハビリテーション科は、整形外科と密接な関係にあり、整形常勤医を心待ちにしておりました。

本田先生が来られてから約1ヶ月、経験豊かで誠実な整形外科医として、とても頼りに思っています。なにより、毎日整形外科の先生がいらっしゃることで、患者さんの小さな変化に対し、すぐに専門的な相談が出来るようになりました。今後も地域医療の充実・貢献に、先生と共に力を合わせて行きたいと思っております。宜しく願い致します。

外来 尾城看護主任
よりコメント

本田先生の第一印象は、「おだやかで やさしそう」と言う意見がほとんどでした。

その通りに患者さんにやさしく接して、冷静沈着にバリバリと仕事をこなしています。

スリムなスタイルで、あっという間に木村病院の『ヒーロー』になるのではないかと、大いに期待しています。

本田先生へ16の質問

Q1 略歴を教えてください。

S60年：日本大学医学部卒業
同年：日本大学医学部整形外科入局
◆日本整形外科学会専門医取得
◆日本リウマチ学会専門医取得

Q3 なぜ医師になろうと思いましたか？

子どもの頃、「外科医ギャノン」
というテレビをみて憧れて・・・

Q4 整形外科を選んだ理由は何ですか？

大工仕事が好きなので。（手術で使う道具が似ている）

Q5 医師になって良かった事は何か？

患者さんや、ご家族に感謝されること。

Q8 得意だった教科は？
理科

Q9 趣味は何ですか？

みんなで楽しくお酒を飲んで
コミュニケーションを図ること。

Q11 血液型は？
O型

Q10 自己PRをしてください！

今まで多くの手術を経験・指導してきました。
その経験を今後の診療に役立てたいと思います。

Q12 木村病院の印象は？

下町的でアットホーム

Q14 自分を動物に例えると？

肉食系（少なくとも草食系ではない）

Q16 患者さんへ
メッセージをお願いします！！

一日も早く、この町に慣れ、
地域に根ざした医療を
提供したいと思います。
みなさん、よろしくお願い致します。

Q2 専門分野は？

整形外科
関節外科(人工関節)
リウマチ

Q6 出身地は？

東京都墨田区

Q7 子どもの時は
どんなお子さんでしたか？

わんぱく
白

Q13 特技は？

日曜大工

Q15 モットーは？

誠心誠意



「次世代法」とは？

正式には、「次世代育成支援対策推進法」
少子化の流れを食い止めるために、
従業員が仕事と子育ての両立ができるよう、
事業主が雇用環境の整備等、働きやすい職
場づくりをすることを求めた法律です。

共働き世帯が増加している中、男女を問わず、仕事と家庭・仕事と育児を両立できるライフスタイルを求める人が増えてきています。
一成会では、職員が仕事と家庭を両立させられるよう、または仕事とプライベートを充実させられるよう、下記のような取り組みをしています。

次世代法に基づく行動計画

少子化社会の中で職員が仕事と子育てを両立し、働きやすい環境を作ることにより、全ての従業員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次の行動計画を策定しました。

1. 計画期間 平成23年1月1日から平成24年12月31日までの2年間
2. 内 容

目標①

産前産後休業や育児休業、育児休業給付等、制度の周知や情報提供を行う

対 策：制度に関するパンフレットの作成・配布
院内研修及び院内報などによる職員への周知

目標②

妊娠中や産休・育休復帰後の女性職員及び、
出産予定の配偶者がいる男性職員のための相談窓口を設置する

対 策：相談窓口の開設及び、職員への周知

目標③

短時間正職員制度の拡充

対 策：就業規則の見直し
就業規則の改定・届出

